日刊 動労千葉
81.1.10
No. 628
国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五～六・（公衆）〇四七二（22）七二〇七

1.14 団結旗びらき に総力結集しよう

「81・3」必勝へむけた 千三百組合員の総決起集会

一月十四日、十三時より労働者福祉センター大ホールに於て「81年動労千葉団結旗びらき」が開催される。全組合員の総力結集をもって圧倒的な成功を勝ちとろう。

まず第一に、この1.14「団結旗びらき」は、激動の81年へ―三里塚ジェット決戦勝利の81・3へ―「本部」革マル反動分子一掃・動労大改革・日本労働運動の戦闘的再生へ―と怒涛の進撃をかちとっていくための、千三百組合員全員の英智とエネルギーを総結集する、かつてない重要な年頭総決起集会である。

昨年11月末の動労千葉第四回大会がうち立てた路線にふまえ、→12・9三里塚全国総決起集会→12月各支部大会の圧倒的成功を連続的に着々とかちとってきたわれわれは、今、年末年始をつらぬく激烈な三大闘争（銚子再建・解雇撤回・ジェット延長阻止）の攻防戦、そして首都圏・房総半島ゆるがす二波にわたる減産闘争のまっ只中で、81年を迎えた。1.14「団結旗びらき」で、更に高々とわが動労千葉千三百の烈々たる闘志と80年代をリードする正義・勝利の路線と展望を内外に鮮明にさし示し、もって1.24総決起集会→2月中旬臨時大会→81・3決戦体制突入への力強い突破口としようではないか。

銚子支部の戦闘的再建・強化を軸に、一月総決起行動の更なる前進を！

第二に、この「団結旗びらき」は、すでに激しく火ぶたを切って落した81年年頭の三大攻防戦に何がなんでも必勝するための体制を強固にうち立てる場である。

「81・3の前に動労千葉をつぶせ！」という一点で連合した権力・国鉄当局、「本部」革マル反動分子、日共、の密集した反動のしかけてきた攻撃ことが、①銚子「支部」デッチ上げ「業務再開」策動のファッショ的暴挙・焦りであり、②「4・15」を口実とする露骨な政治的処分＝布施組織部長への不当解雇発令攻撃であり、③全く理不尽な「ジェット延長提案」強行の攻撃である。

とりわけ、その決定的なポイントをなす、当局・「本部」革マルの連合による銚子支部ひきまわし・分裂・破壊の攻撃は、あの「79年4月17日」や「80年4月15日」の津田沼襲撃にまさるともおとらぬ卑劣な革マル反動分子特有のファッショ的暴挙であると共に、完全に、自らの墓穴をほったものである。銚子の中にあって、これと密通し、組合員を愚弄している大川、石毛ら8名の悪質裏切り分子の責任を明らかにし、徹底追及・糾弾し尽すことが、銚子支部全組合員の真の利益をも勝ちとる唯一の正しい道であることが、今日、連続的オルグの中で日に日に明らかとなり、職場の声として拡大しつつある。「1.14」で一月総決起の体制を更に数段強固にし、全員の闘いとして強化していこう。

反対同盟、全支援勢力との連帯うち固め、81・3の歴史的大ストライキ実現へむけ前進しよう！

第三に、この「団結旗びらき」は、81・3へむけた強固な闘争体制をつくりむす場である。1/8の「延長提案」を動労千葉・国労千葉地本が拒否したのに対し、鉄労と動労「本部」津田沼事務所が「提案」を受けた事実に明らかなように、81・3をめぐる闘いは開始された。「81・3を闘う五つの視点」にしっかりとふまえて、歴史的なストライキを勝ちとるべく、反対同盟、全支援勢力との連帯をうち固めよう。全力で「旗びらき」に結集しよう。

日時・一月十四日（水）十三時～
場所・千葉県労働者福祉センター大ホール
プログラム・基調講演・決意表明・各界あいさつ・アトラクション 他
〈各支部最大限動員〉